輝け 未来へ 中番校

No one will be left behind

始業式！入学式!!令和４年度、一人一人の物語の始まり!!!

－ Change（変革）,Challenge（挑戦）,Continue（継続）－

この学校通信の名前は「**輝け 未来へ 中番校 No one will be left behind**」です。令和２年度、令和３年度に引き続き、「学校だより」とは別に、不定期で発行します。この学校通信の名前で、校訓「輝け 未来へ 中番校」に続く、英語の意味は何か、初めてご覧になる方は、一度考えてみてください。また、通信の名前の横に付いているマーク？メダル？についても、どんなものに付いていたものか、考えてみてください。誰かにお尋ねになってもらってもいいかもしれませんね。よろしくお願い申し上げます。

さて、中番小学校では、先週木曜日、１学期始業式を行いました。その時、子供達から、自らの学習への意欲を、スポーツへの意欲、この一年に頑張りたいこと、期待することへの思いを聞かせてもらいました。**子供達は、表にはあまり出さないけれど、「もっと学びたい！」「もっとできるようになりたい！」「この一年、こんなことしたい、あんなことしたい！」という熱い思いを持っているんだと改めて感じました。**大変嬉しかったです。そうですよね。新しい学年の始まりです。教室、靴箱、担任の先生、学年の立場や役割、新年度に向けて筆箱の中の文房具も新しくなっているかもしれません、そうです。**何もかもが一新されているのです。**自分を振り返り、令和４年度は、心機一転、起死回生の一発を狙っている、思っている子供達も多いのではないでしょうか。始業式の日、何より、子供達の目の輝きが、動きが違っていました。そして、どの子供達も、大変、大きく立派に見えました。校長室に教科書を取りに来る子供達、ノートやドリル等、様々な新学年の準備物を持ち帰る子供達、廊下で出会う子供達、決して体が大きくなったということではありません。溢れるエネルギー、漲る生気、「やるぞ！」という意気込みの表れなのだと思います。子供達の体から知らず知らず滲みだし、自然と発し、後ろに見える揺らぐオーラとでもいうべきものだと思います。そんな子供達を見ながら、大変、嬉しく頼もしく感じました。そして、今の気持ちを、そのエネルギーを、持ち続けて欲しい。決して色褪ないで欲しい、そう願いました。

先週金曜日、令和４年度入学式を行いました。満開の桜、花弁舞う、麗らかな春の日差しの中、明るく元気なピカピカの１年生 16 名に出会いました。首を長くして待っていました。出会えて大変嬉しく思いました。１年生の保護者の皆様におかれましては、お子様のご入学誠におめでとうございます。この日をどれほど心待ちにされていたことでしょうか。入学式では、新１年生の子供達に生きていく為に大切な**魔法の言葉３つ**をプレゼントしました。その言葉とは一体何だったでしょうか。１年生の皆さん、覚えていますか？出会った時は、是非、尋ねたいと思っています。２年生から６年生までの中番小学校の皆さんならきっと覚えていることでしょう。漢字で１文字ずつです。しかも動作付で覚えておいて欲しいと思っています。これは私と中番小学校の子供達との合言葉なのです。入学式を終え、これで中番小学校１２４名、全員が揃いました。正真正銘、令和４年度のスタートです。**かけがえのない１２４名が織りなす一人一人の令和４年度物語を紡いでいきましょう。**

新型コロナウイルス感染症については、まだまだ心配な状況です。今後も、一人一人の行動が大変重要だと感じています。今後も気を緩めることなく、その感染対策を継続し、徹底して、児童がきちんと行っていけるよう指導を続けたいと考えています。保護者の皆様にも引き続き、児童の朝の検温、体調管理等、感染症対策について、ご理解とご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。令和４度も中番小学校は、子供達、保護者の皆様、地域の皆様と相互に連携し、一緒になって学校教育活動を進め、共に歩んでいきます。重ねてよろしくお願い申し上げます。

学校通信　No.１　令和４年４月１１日　小野市立中番小学校長　田中康善